

NVN 記念座談会のご案内

日蓮宗ビハーラネットワーク (NVN)

「いまさら訊けない『ビハーラ』って何？」

日蓮宗ビハーラネットワークでは、会創立以来ビハーラ活動並びに「ビハーラ」の啓蒙活動をしてまいりました。

しかしながら、「ビハーラ」活動は多岐にわたっており、その定義すら見失われがちです。

そこで初心に戻って、今一度「ビハーラ」とは何だろうか？を座談会形式で学びたいと思います。

一般的に「ビハーラ」とは、サンスクリット語で精舎、僧院、寺院あるいは安住・休養の場所を意味し、現代では末期患者に対する佛教ホスピス、または苦痛緩和と癒しの支援活動を指します。(Wikipedia より)

私たちは僧侶として、法華経・日蓮大聖人の御教えを身に帯し、悩み苦しむ方々に寄り添っていかなければなりません。

しかし例えば、檀信徒との会話の中で「検査でガンが見つかった」ことを知らされた時、どのように寄り添えば良いのか、それ自体に悩むこともあります。

この問いに対する「正解」はありません。もしかするとその信徒の奥さんが妊娠中で、生まれてくる子のことが気がかりかもしれず、もしかすると身寄りがなく自身に万一のことがあった後の心配をされているのかもしれない。このようにその悩める方の年齢・家族構成・環境、また打ち明けられた教師の年齢等によってもその対応は変わってきます。

のみならず、毎年のように起こる災害における被災者、子の不登校に悩む両親、自死で失った家族…等々、人々の悩みは多岐にわたります。

日蓮大聖人は、多くの御消息で、対告衆のおかれた環境を察知し、その心情に寄り添って、法華経への信仰に導かれました。大聖人の末弟たる私たちは今、何を求められているのか、何ができるのか、何をしなければならないのか、という基本に立ち返り、参加者が直面する問題解決や活動指針を得るべく、「ビハーラとは何か？」を座談会形式で学んでいきたいと思ひます。

年齢・経験・地域差・環境などが違う幅広い参加者から、たくさんの学びを得るためにも、多くのご参加をお待ちしております。